

科目名	C言語 I C Programming Language I						
科目担当者	本村 信一 MOTOMURA Shinichi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義／実習	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>本科目の目的は、システム開発の基礎となるプログラミング能力を身につけることである。プログラミング言語としては一般的なC言語を用いる。C言語の基本的な文法や操作方法について学習を進め、プログラマが修得すべき基本的なプログラミング能力を確実なものとしていく。そのため、本授業において順次実行、条件判断、繰り返しといった制御構造の基礎を理解するとともに、実際のプログラミング技法について学ぶ。 (留意事項) 初回からノートパソコンとLANケーブルを必ず持参すること。ノートパソコンのメモリ容量は、8GB以上を推奨する。</p>						
授業の到達目標	① プログラムの概念と働きが理解できる。 ② C言語の開発環境 (Visual Studio) が利用できる。 ③ C言語の文法 (制御構造) が理解でき、数値や文字を使ったプログラムが作成できる。 ④ メモリやアドレスが理解でき、ポインタ・構造体を使ったプログラムが作成できる。 ⑤ プログラムをトレースでき、エラー発生時には自力でデバッグすることができる。						
授業計画・内容	1	ガイダンス、授業の目的と意義					
	2	環境構築					
	3	変数とデータ型					
	4	算術演算子と優先順位					
	5	条件分岐					
	6	繰り返し処理					
	7	一次元配列					
	8	二次元配列					
	9	関数の基本					
	10	関数の応用					
	11	文字と文字列					
	12	ポインタ					
	13	構造体					
	14	ファイル入出力					
	15	演習問題					
授業外学修 (事前学修)	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。(毎週2時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	授業中に提示された練習問題を解き、レポート(ソースコード・実行結果を添付)を作成する。(毎週2時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 レポート				70% 30%		①②③④⑤ ①②③④⑤
成績評価基準	秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	株式会社アंक 『Cの絵本』(翔泳社)						
参考文献	環境構築の資料や教科書の補足はオリジナル資料として講義中に配布する。						
その他	C言語IIとリンクしており、C言語Iは主に文法、C言語IIではアルゴリズムを学ぶ。						